marantz®

Model PM4400 取扱説明書

INTEGRATED AMPLIFIER

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、または最寄りの日本マランツ (株) 各営業所にお問い合せください。

目　次

1. 安全上のご注意 3
2. ご使用の前に 6
3. 付属品について 7
4. 本機の主な特長 8
5. 接続のしかた 9
6. 各部の名称とはたらき 10
   ■ 前面 10
   ■ リモコン 11
7. 基本的な使いかた 12
8. テープデッキ等を使う時 13
9. 仕様・外観寸法図 15
10. 著作権について 15
11. お手入れ 15
12. ステレオ音のエチケット 15
13. 故障とお考えになる前に 16
14. 保証・アフターサービスについて 16

1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

警告

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
  感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- このセットは民生機器であって、業務機器としてのご使用はさけてください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、
  けがの原因となります。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。
- この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注 意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

注 意

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子 ⊕ とマイナス ⊖ 端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。
- ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

2. ご使用の前に

■ 次のような場所には置かないように…

セットを長くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体が近い場所。
- 風通しが悪く、湿気やホコリの多い場所。
- 振動や傾斜のある不安定な場所。
- アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性の物に近い場所。
- 窓ぎわで、雨などのかかるおそれのある場所。
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる場所。

■ ご使用いただく電源電圧・周波数は

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz地域または60Hz地域で使用できます。

■ セット内部の修理は

- 専門知識を持った技術者以外の方は、セット内部の修理を行わないようにしてください。
- セット内部の改造はしないでください。

■ 異物が入った場合は

- 通風孔などからセット内部にヘアピンなどの異物が入りますと、感電や故障の原因になります。
- もし異物がセット内部に入った場合は、ただちに電源コードをはずし、お買い求めの販売店、またはお近くの日本マランツ(株)営業所、またはサービスセンターにご連絡ください。

■ 電源コードの取扱いはていねいに…

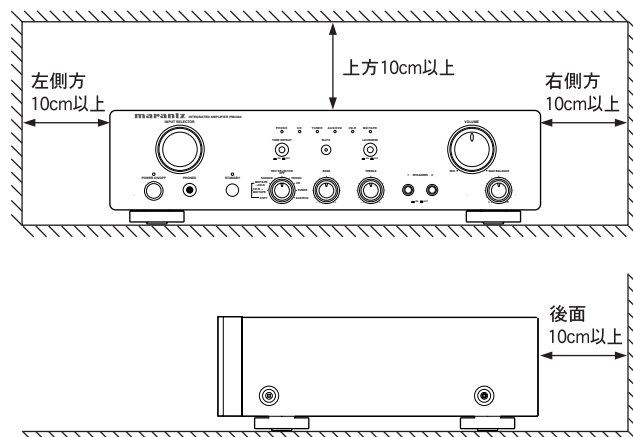
- 電源コードは必ずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますとコードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- 長時間ご使用にならないときは、必ずプラグを抜く習慣をつけましょう。
- 濡れた手で触れないでください。

■ 水が入ったときは

- セット内部に水が入りますと感電や故障の原因になりますので、水の入った容器などはセットの上に置かないでください。
- もし水がセット内部に入った場合は、ただちに電源コードをはずし、お買い求めの販売店、またはお近くの日本マランツ(株)営業所、またはサービスセンターにご連絡ください。

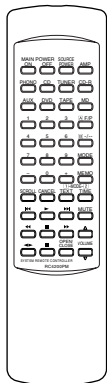
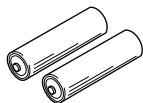
■ 次のような場所には置かない

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器が近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 天地の狭いオーディオラックなど放熱を妨げる所
  放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

3. 付属品について

■ 付属品の確認

箱を開けたら下記の付属品が揃っていることをご使用の前にご確認ください。

● リモコン（RC4200PM）

● 単三形乾電池２本

● 取扱説明書（本書）

● 保証書

■ リモコンの使用について

● 使用上の注意

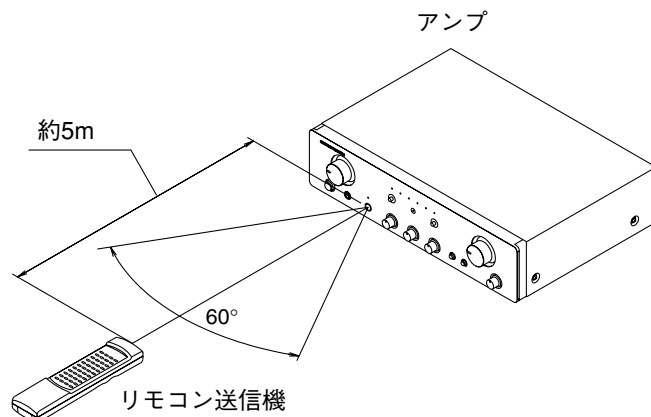
・ リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。

・ リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

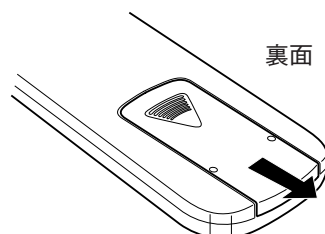
・ リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。

・ リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

● リモコンの使用できる範囲

リモコンによる本体の操作可能範囲は下図のように本機の赤外線受光部から約 5m、左右 60°以内です。

● リモコンに乾電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに乾電池を入れてください。付属の乾電池はリモコンの動作確認用です。

(1) 裏ぶたをはずす

(2) 電池のを正しく入れる

(3) カチッと音がするまでしめる

4. 本機の主な特長

● ハイパワー70W×2（4Ω、ダイナミックパワー）
スリムなボディーながら、大型電源部によるハイ・パワーで音楽を躍動的に再生します。

● 高音質設計
信号経路の最短化や高音質パーツの採用、ゆとりのある電源回路など単品コンポーネントならではの高音質設計となっています。

● 録音セレクターを搭載
テープデッキ、CD-R/MD 間でのダビングや、裏録音を可能にする録音セレクターを搭載しています。（→13ページ）

● レコードプレーヤーの接続が可能なフォノ入力端子
フォノアンプを搭載していますので、レコードプレーヤーをそのまま接続して楽しむことができます。（MM カートリッジのみに対応します。）（→ 12 ページ）

● 2系統スピーカー出力端子搭載
2組のスピーカーを鳴らし分けるのはもちろん、中・高域、低域用に出力端子が分かれたバイワイヤリング対応のスピーカーにも簡単に接続できます。端子はオーディオ用の太めのコードも確実に接続できるスクリュー式を採用しました。また、ワンタッチで簡単に接続できるバナナプラグにも対応しています。（→ 9 ページ）

● トーンコントロール機能
低音域、高音域の強弱調整が可能なトーンコントロール機能を搭載していますので、システムにあわせてお好みの音質に調整できます。（→ 10 ページ）

● ラウドネス機能
小音量再生時に音楽を聞き取りやすくするラウドネス機能を搭載しています。（→ 10 ページ）

● ワイヤレスリモコン付属
本機をはじめマランツのCD プレーヤーなどを操作可能なワイヤレスリモコンを付属しています。（→ 11 ページ）

5. 接続のしかた

ご注意　接続するときは本機および接続する各機器の電源を必ず切ってから行なってください。

CDプレーヤー

出力端子へ
(LINE OUTPUT)
可変出力端子と固定出力端子がある場合は、固定出力端子を使用してください。

MDまたはテープデッキ

出力端子へ
(LINE OUTPUT)

入力端子へ
(LINE INPUT)

スピーカーシステム

L　R

信号の流れ

REMOTE CONTROL端子（リモートコントロール）
マランツ製のリモートコントロール端子を持つ機器と接続することにより、システムをリモートコントロールすることができます。
リモートコントロール機能については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

AC OUTLETについて
- スイッチ連動（SWITCHED）
本機の電源スイッチと連動して電源をON/OFFします。
- スイッチ非連動（UNSWITCED）
本機の電源スイッチとは独立して電源を供給します。
どちらも電力容量は、100W以下です。消費電力の大きいものは接続しないでください。

電源コンセントへ

GND　PHONO　CD　TUNER　AUX/DVD　MD/TAPE　CD-R　IN　OUT　IN　OUT　L　R

SPEAKER SYSTEMS　SYSTEM 1 : 4-16 OHMS　SYSTEM 2 : 4-16 OHMS　SYSTEM 1+2 : 8-16 OHMS　SYSTEM 2　R　L　SYSTEM 1

REMOTE CONTROL　IN　OUT

AC OUTLETS 100V 50/60Hz　100V MAX TOTAL SWITCHD　100W MAX UNSWITCHD

MM（ムービングマグネット）型フォノカートリッジを装備したレコードプレーヤーからの出力コードを接続します。

BSチューナー、VCR、LV、テレビ等の音声出力を接続します。
DVDプレーヤーを接続する場合は、2チャンネルのオーディオ出力を接続してください。
詳しくはDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

レコードプレーヤー

フォノアンプ付属のレコードプレーヤーはAUX端子に接続してください。詳しくはレコードプレーヤーの取扱説明書をお読みください。

出力端子へ
(LINE OUTPUT)

チューナー

出力端子へ
(LINE OUTPUT)

入力端子へ
(LINE INPUT)

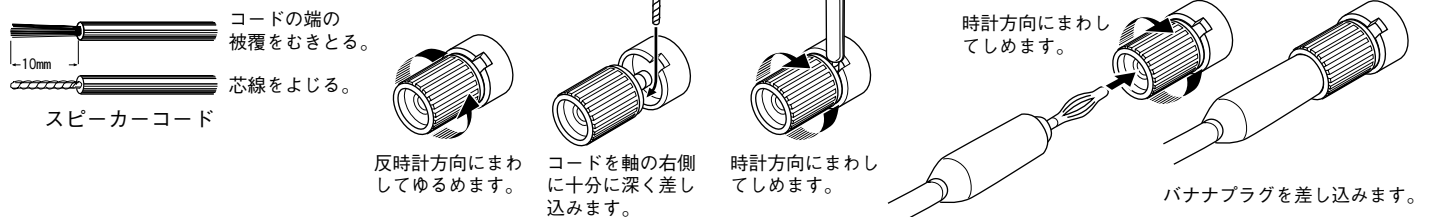
CDレコーダー

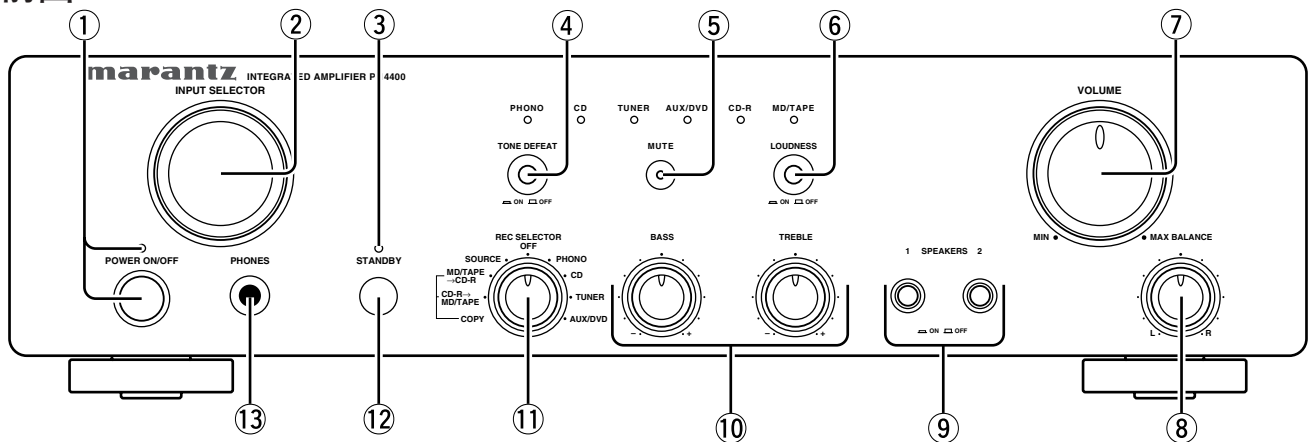
L　R

スピーカーシステム

■ スピーカーシステムの接続

出力端子には、プラス（⊕ ：赤色）とマイナス（⊖ ：黒色）の極性があり、スピーカーシステムにも極性（⊕ と ⊖）があります。
接続する場合は、必ず同じ極性（⊕ と ⊕ 、⊖ と ⊖）に接続してください。

■ スピーカーコードの接続

6. 各部の名称とはたらき

■ 前面

① 電源スイッチ (POWER)

一度押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。さらに電源スイッチがON状態(①電源表示インジケーターが点灯している状態)の時リモコン〔RC4200PM(付属)〕を使って電源を入れたり切ったりできます。

リモコンのMAIN POWER OFFボタン(またはSOURCE POWERボタン)を押して電源を切った場合、本機は待機状態(スタンバイ)となり、いつでもリモコンからの電源"ON"の命令を待っている状態になります。また、このスイッチとリモコンのMAIN POWER OFFボタン(またはSOURCE POWERボタン)で、後面にあるAC OUTLETS (SWITCHED)の電源をON/OFFできます。

スタンバイのときは ① 電源インジケーターと ③ スタンバイインジケーターが共に点灯します。

RC4200PMの説明はリモコンのページ(11ページ)を参照してください。

初期状態のときはスタンバイ状態より動作します。インプットセレクターを回して電源を入れてください。

② インプットセレクター (INPUT SELECTOR)

録音や再生をするために、PHONO、CD、TUNER、AUX/DVD、CD-R、MD/TAPEそれぞれのプログラムソースを選択するスイッチです。

スタンバイ状態のときこのノブを回すと電源が入ります。

③ スタンバイ インジケーター

待機状態のときに点灯します。

④ トーンデフィートスイッチ (TONE DEFEAT)

オーディオ信号をトーンコントロール回路に通さない場合にスイッチをON(押した状態)にします。このときトーンコントロール機能は働きません。

⑤ ミューティングインジケーター (MUTING)

リモートコントロール送信機(RC4200PM(付属))のMUTEボタンを押すと点灯します。もう一度押すと消灯します。

ご注意

このインジケーターが点灯していますと音が出ない状態になります。消灯する時には今一度、ボリュームコントロールつまみの位置を確認してください。音量が大きい位置になったままですと、接続しているスピーカーがダメージを受ける恐れがあります。

⑥ ラウドネススイッチ (LOUDNESS)

小さい音量のとき、低音および高音を強調することにより、人間の耳の特性に合わせて音質を補正します。押した状態でラウドネス効果を発揮します。

⑦ ボリュームコントロールつまみ (VOLUME)

音量を調整します。つまみを右(↻)にまわすと音量が大きくなります。

付属リモコンのUP(音量を上げる)/DOWN(音量を下げる)でもコントロールできます。

⑧ バランスコントロールつまみ (BALANCE)

LEFT(左)チャンネル、RIGHT(右)チャンネルどちらか一方のチャンネルの音量を変える場合に使います。

なお、バランスコントロールつまみがどちらか片方いっぱいにまわしきられていますと、反対側のスピーカーからは音がでませんのでご注意ください。

⑨ スピーカー1 / 2スイッチ (SPEAKERS 1 / 2)

後面パネルのSPEAKER SYSTEMS 1、2端子を選択するスイッチです。スイッチを1、2両方ON(押した状態)にすると、同時に両方のスピーカーシステムを使用することができます。ヘッドホンのみを使用するときは、スイッチは1、2共にOFF(押していない状態)にしてください。

⑩ トーンコントロールつまみ (BASS、TREBLE)

音質を調節するつまみで、各音域の強弱はそれぞれのつまみをまわすことによってコントロールされます。

各音域とも時計回りで強調され、反時計回りで弱められます。

TREBLE ： 高音域の音質を調整します。
BASS ： 低音域の音質を調整します。

⑪ 録音セレクタースイッチ (REC SELECTOR)

CD-R、MD/TAPE間でのテープダビングモードや、録音出力 (REC OUT) 端子から出力される信号を選びます。

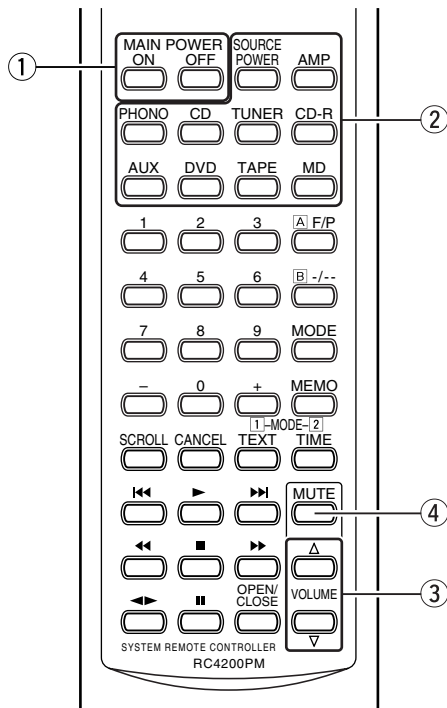
⑫ 赤外線受光窓 (IR SENSOR)

赤外線リモートコントロール信号を受ける窓です。リモートコントロール送信機〔RC4200PM(付属)〕を受光部に向けて送信してください。

⑬ ヘッドホンジャック (PHONES)

このジャックは標準プラグのステレオヘッドホンを使います。ミニプラグタイプのヘッドホンを使う時はアダプター(別売)を使用してください。

■ リモコン

このリモコンはリモート受光部の付いているマランツAV機器とその他のリモートコントロールバスを持ったマランツ機器を接続することで同じようにコントロールすることができます。
ボタンレイアウトは下図を参照してください。
PM4400本体は
① 電源のオン・オフ
② 入力信号の切り替え
③ ボリュームアップ・ダウン
④ ミュート
のみを使用します。

① 電源のオン・オフ

a. MAIN POWER ON ボタン

PM4400 がスタンバイ状態のときオンになります。

b. MAIN POWER OFF ボタン

PM4400 が電源オン状態のときスタンバイになります。

c. SOURCE POWER ボタン

マランツのCDプレーヤー、チューナー、CD-Rなどで電源スタンバイ機能があるモデルは、入力切り替えボタンに続けてこのボタンを押すと、電源オン／スタンバイの切り替えができます。
TUNERボタンを押した後このボタンを押すと、チューナーの電源がオンになり、もう一度押すとスタンバイとなります。
AMP ボタンと続けてこのボタンを押すと PM4400 の電源がオン／スタンバイ交互に切り替わります。

② 入力切り替えボタン

PHONO ボタン	このボタンを押すと PHONO（アナログレコード）入力が選択されます。
CD ボタン	このボタンを押すと CD の入力が選択されます。
TUNER ボタン	このボタンを押すとチューナーの入力が選択されます。
CD-R ボタン	このボタンを押すと CD-R の入力が選択されます。
AUX ボタン	このボタンを押すと AUX/DVD（その他の機器）の入力が選択されます。
DVD ボタン	このボタンを押すとAUX/DVDの入力が選択されます。
TAPE ボタン	このボタンを押すとMD/TAPEの入力が選択されます。
MD ボタン	このボタンを押すとMD/TAPEの入力が選択されます。

注） MDとテープ、およびDVDとAUXの入力端子は同じです。マランツのMD、テープデッキ、DVDをRC4200PMで操作するときのコードが違うため、ボタンが別れています。

③ ボリューム アップ・ダウン ボタン

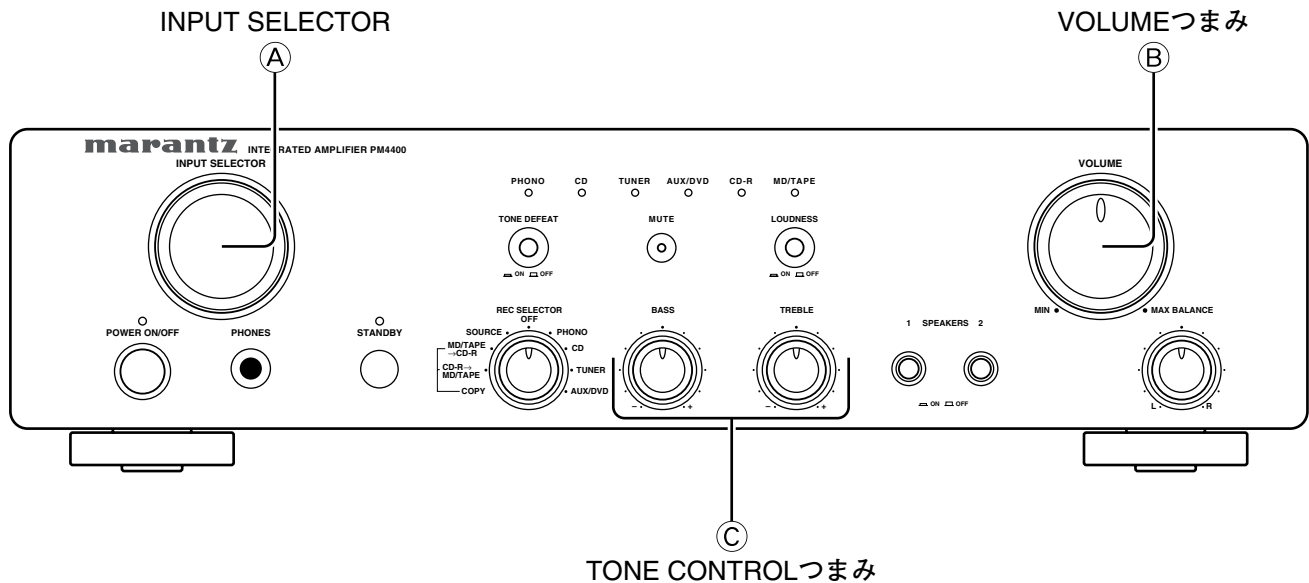
UPボタン（▲）	音量が大きくなります。
DOWNボタン（▼）	音量が小さくなります。

④ ミュートボタン

このボタンを押すと一時的に音を消すことができます。再度押すと復帰します。
ミュート・オン時、ボリュームをアップ・ダウンするとミュートは解除します。

その他のボタン

これらのボタンでマランツのチューナー、CD、デッキ等を操作することができます。
詳しい内容は各々の取扱説明書に記載されている該当するボタンの項をご覧ください。

7. 基本的な使いかた

■ レコードを再生する

1 INPUT SELECTOR Ⓐ で PHONO にします。
2 レコードプレーヤーを操作します。
3 VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4 TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

ご注意

- レコードプレーヤーのカートリッジを交換するときや、レコード盤に針をのせるときは、ボリュームをしぼった状態で行ってください。
- レコード再生中は、レコードプレーヤーに振動を与えないでください。振動で針がとび "音とび" やレコード盤に "キズ" をつける原因となります。
- レコードプレーヤーをスピーカーシステムの近くに設置しますと、ハウリング（ブーンという振動音）を起こし、音量を大きくできない場合があります。
- レコード盤に針をのせたまま電源を切らないでください。

■ FM/AM 放送の聞きかた

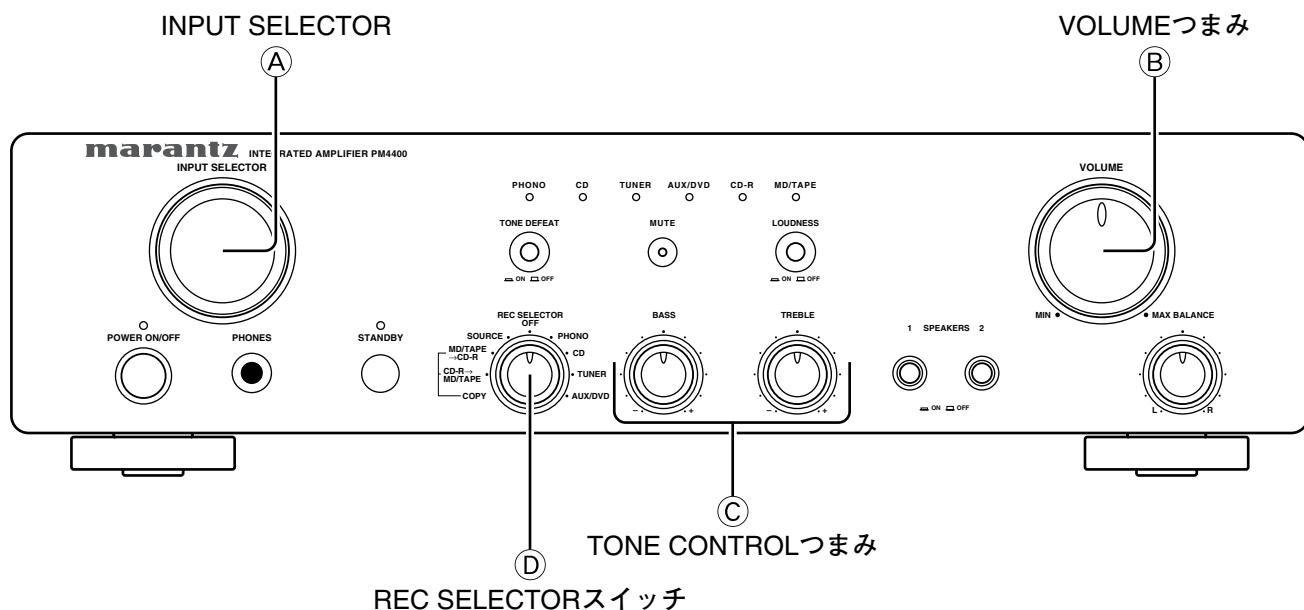
1 INPUT SELECTOR Ⓐ で TUNER にします。
2 チューナーを操作し、放送を受信します。
3 VO00LUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4 TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

■ CD プレーヤーを再生する

1 INPUT SELECTOR Ⓐ で CD にします。
2 CD プレーヤーを操作します。
3 VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4 TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

■ AUX/DVD に接続した機器の聞きかた

1 INPUT SELECTOR Ⓐ で AUX/DVD にします。
2 AUX/DVD に接続した機器を操作します。
3 VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。
4 TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

8. テープデッキ等を使う時

■ CD-R、MD/TAPE 再生

1 INPUT SELECTOR Ⓐ でCD-R またはMD/TAPE にしてください。
インジケーターが点灯します。

2 CD-RあるいはMD、テープデッキを操作し、録音済みメディアを再生します。

3 VOLUME コントロールつまみ Ⓑ で音量を調整します。

4 TONE CONTROL つまみ Ⓒ で音質を調整します。

■ CD-R、MD/TAPE 録音

レコードプレーヤーやチューナー、およびCDプレーヤーなどのプログラムソースをテープに録音するには、次のように行ってください。

1 REC SELECTOR スイッチ Ⓓ の、録音しようとするプログラムソースを選びます。

2 プログラムソースを演奏します。

3 CD-R あるいは MD/ テープデッキを操作してテープまたはディスクに録音します。

■ 録音セレクター (REC SELECTOR) スイッチの使用について

REC SELECTORスイッチⒹは、カセットテープを別のメディアへコピーするときや、CD をCD-R に録音する場合などに使用します。
このスイッチは TUNER のソースをスピーカーで聞きながら、CD をCD-R にコピーする等の裏録音をする時にも使うことができます。

1 スイッチが OFF の位置では、信号は REC OUT 端子には出力されません。信号をテープに録音する以外は、REC OUT 端子に信号を出力する必要はありません。
スイッチをOFF の位置にセットすると、本機内部の信号経路が短くなり、クロストーク（信号の漏れ）などを少なくすることができます。

2 SOURCEの位置では、INPUT SELECTOR Ⓐで選択した信号を CD-R、MD/ テープに録音できます。

3 COPYの位置では、CD-Rの信号をMD/テープへコピー、または MD/ テープの信号を CD-R へコピーができます。

4 PHONO の位置では、PHONO（レコード）の信号をCD-R、MD/TAPE OUT に出力します。

5 CD の位置では、CD の信号をCD-R、MD/TAPE OUT に出力します。

6 TUNER の位置では、TUNER の信号を CD-R、MD/TAPE OUT に出力します。

7 AUXの位置では、AUXの信号をCD-R、MD/TAPE OUTに出力します。

9. 仕様・外観寸法図

■ 仕様

項目	値
定格出力（20 Hz～20 kHz 両ch同時駆動）	30 W×2（8Ω負荷） 40 W×2（6Ω負荷） 50 W×2（4Ω負荷）
ダイナミックパワー	50 W×2（8Ω負荷） 60 W×2（6Ω負荷） 70 W×2（4Ω負荷）
全高調波歪率（20 Hz～20 kHz、8Ω負荷）	0.03 %
混変調歪率（SMPTE）	0.015 %
出力帯域幅（8Ω負荷、0.03 %）	10 Hz ～50 kHz
周波数特性（CD、トーンデフィート）	10 Hz ～100 kHz $^{+0dB}_{-3dB}$
ダンピングファクター（8 Ω負荷、20 Hz～10 kHz）	60
入力感度/入力インピーダンス	
PHONO（MM）	2.5 mV/47 kΩ
HIGH LEVEL	150 mV/20 kΩ
PHONO最大許容入力（1 kHz）	
(MM)	170 mV
RIAA偏差（20 Hz）	−3 dB
（40 Hz～20 kHz）	±0.3 dB
S/N比（A・ウエイト補正）	
PHONO（MM）	86 dB
HIGH LEVEL	96 dB

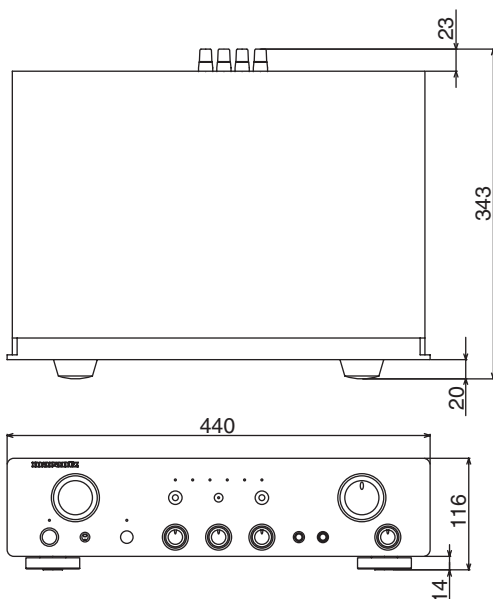
電源部

項目	値
電源電圧	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	100 W

キャビネット・その他

項目	値
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）	440×116×343 mm
質　量	6.0 kg

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

■ 外観寸法図（単位 mm）

10. 著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、CDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

11. お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。
また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したりすることがありますのでご注意ください。

12. ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

13. 故障とお考えになる前に

故障かな？ と思われましたらちょっとチェックしてみてください。
意外な操作ミスで故障と思われることがあります。
下記の項目をチェックしても正常に動作しない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの日本マランツ（株）各営業所、または弊社サービスセンターにご相談ください。

アンプが動作せずインジケーターが点灯しない

1. 電源プラグが正しくACコンセントに差し込まれているか確認してください。

インジケーターは点灯するがアンプが動作しない

1. インプットセレクタースイッチ(INPUT SELECTOR)を間違えていないか、ボリュームコントロールつまみ（VOLUME）位置がMINになっていないか、ミュート（MUTE）がONになっていないかなどをチェックしてください。
2. 電源スタンバイ状態になっていないかチェックしてください。
長い間ご使用にならないとバックアップが解除されます。セレクターノブを回してみてください。

一方のスピーカーからしか音が聞こえない

1. バランスコントロールつまみ（BALANCE）の位置をチェックしてください。
2. セットの電源を切り、左右チャンネルのスピーカーコードを入れ換えてみてください。それでも同じスピーカーから音が出ないときは接続コード、あるいはスピーカーの不良です。

レコードプレーヤーのハムが大きい

1. フォノプラグと端子が正しく確実に接続されているかチェックしてください。
2. レコードプレーヤーのアース線をセット後面にあるGND端子に接続してみてください。すでに接続されている場合は、はずしてみてください。
3. フォノカートリッジがトーンアームにしっかり接続されているかチェックしてください。
4. レコードプレーヤーの電源コードプラグを逆にして、コンセントに差し込んでください。

14. 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より１年間です。
正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の節は、お買い上げ販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低８年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所にご遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障とお考えになる前に」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、修理を依頼してください。

ご連絡いただきたい内容

1）品　名	プリメインアンプ
2）品　番	PM4400
3）お買上げ日	年　月　日
4）故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）ご住所	（付近の目印等も併せてお知らせください）
6）お名前	
7）電話番号	

marantz®

日本マランツお客様ご相談センター

〒113-0034　東京都文京区湯島 3-16-11

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間
9：30－12：00　13：00－17：00
（土　日　祝日　当社休日を除く）

○　修理に関しましては下記サービスセンター、又は別紙営業所一覧の各営業所で承っております。

首都圏サービスセンター　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1　☎ (042) 748-0762
大阪サービスセンター　〒564-0053　大阪府吹田市江の木町2-31　☎ (06) 6337-6699

日本マランツ株式会社

本社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7-35-1
国内営業部　〒113-0034　東京都文京区湯島 3-16-11

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。
http://www.marantz.co.jp

Printed in China　2003/03 MITs 25AW851110